

名古屋工業大学 吹奏楽団 活動報告書

2019.11.15

1. 2019 年度 1 年間の活動

5月18日	ソレイユ演奏会 春の部
6月8日	OB・OG会
7月6日	ソレイユ演奏会 七夕の部
9月17日	夏合宿: たつのパークホテル 演奏会
9月21日	はちやデイサービス 演奏会
10月26日	ホームカミングデイ 演奏
11月23日	工大祭
12月22日	ソレイユ演奏会 クリスマスの部
2月18日	春合宿
3月18日	第8回定期演奏会(名古屋市瑞穂文化小劇場)

表 1. 2019 年度 NWO 活動

今年も毎年3回演奏する機会をいただいている”老人ホーム:ソレイユ”さんを中心に、昨年、好評をいただき再び招待していただいた”はちやデイサービスセンター”さん、そして夏合宿を行った信州の辰野市の合宿施設の一角をお借りして演奏会「SummerConcert2019」を開催させていただきました。



図 1. ソレイユでの全体合奏

人数が増え、より幅の広い音楽の演奏が可能になりました♪

老人ホーム:ソレイユでは、5月には春をテーマに、7月は七夕をテーマに演奏させていただきました。新1年生も入り、団員も49人と人数が増え、より一層活気のあふれる音楽を作り始められています。



図 2. アンサンブル演奏

OB・OG会では、この楽団が結成されて10周年を記念し、初代部長をはじめ、社会人となったたくさんの先輩方だけでなく、顧問の神田先生や、毎年定期演奏会で指揮を振ってくださった岩本渡先生にもお越しくできました。



図3. 全体集合写真

中心には岩本先生と神田先生。
左側には社会人の先輩方、
右側には現役生たち

自分たちが今、この楽団で音楽をできるのは、たくさんの先輩方や先生方の努力と苦勞、そしてこの楽団を愛する気持ちのおかげなのだと感じました。

これからもこの楽団は支えてくださる多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、日々の活動に取り組んでいきます！



図4. 社会人と現役生の対話

夏合宿は、長野県のたつのパークホテルで行いました。3泊4日の内、2日目にホテルのホールを借りて、SummerConcert2019を開催しました。

当日は100人以上の地元の方がお越しく下さり、最高の演奏会を行うことができました！



図5. アンコール曲「ヤングマン」演奏



図6. 地元新聞に掲載されました

辰野町議会副委員長の池田様から「次回はもっと大きな会場で！」とお誘い頂きました。

ホームカミングデイでは、昨年度にご支援いただいたファゴットを用いた木管 5 重奏をはじめ、トロンボーンとチューバによるアンサンブル演奏もさせていただきました。

依頼の連絡が遅れてしまい、練習時間が少ないにも関わらず、メンバーは授業の合間に集まり、練習をしてくれました。



図 7. 木管 5 重奏 「となりのトトロ」演奏

ご来場いただいた多くの方々が足をとめ、写真を撮り、「いいね〜」とつぶやいてくださいました。

図 8. トロンボーンとチューバ
アラジンによる「Friends Like Me」演奏

2. 大掃除

夏の演奏会が終わった後、普段お世話になっている部室・合宿所・大学会館の大掃除をしました。今回は、エアコンの掃除も行い、いつも以上に大変な大掃除となりました。



図 9. 掃除機を使って溝のほこりを取る

合宿所は畳の部屋なので、ほうきと掃除機を使って、ほこりやごみを取り除きました。ドアの溝や廊下などの汚れは、雑巾を使って丁寧に磨きました。



図 10. 手の届きにくい扉の溝も雑巾で磨く

部室は楽器や荷物、マットなどたくさんものがあるので、ものをどけながら丁寧にほうきをかけて雑巾で床を磨きました。

今回は棚を整理する中でいらぬものも多く捨てられてしまいました…少し寂しさも感じますね…



図 12. 楽器をどけてほうきを履く



図 13. 捨てられるくまちゃん

大学会館は床が果てしなく汚いだけでなく、天井にはカビが生えている箇所があったので、机・イスを廊下に出した後、ほうきを履き、ゲキ落ち君と濡れ雑巾を駆使して磨きました。



図 14. 大学会館の床をゲキ落ち君で磨く



図 15. 換気扇周りのカビを磨いて落とす

エアコンは場所によって形式が異なりましたが、いずれもフィルターを取り、水で洗い、汚れを歯ブラシでこすり、外で乾燥させました。エアコンの吹き出し口や枠も汚れていたの雑巾でこすりました。エアコンの内部構造までは深追いできませんでした。



図 16. 合宿所のエアコン掃除



図 17. フィルターの水洗い



図 18. 大学会館のエアコン掃除

3. 普段の練習

日々の部活動では、個人による基礎練習から始め、パート練習、全体基礎合奏、曲練習と行っておりますが、どうしても人数が集まらないときは、いつものパートの枠を超え、フレキシブルなペア練習を行ったり、普段の合奏体系とは異なる円状に並ぶことで、多様な音の多様な価値観を共有し、柔軟な音楽を作っています。「普段あまり話さない別のパートの先輩の吹き方を知れた。」や「お互いに練習で意識していることを共有できてよかった。」など新しい発見がたくさんです。



図 19. サックス(1年生)とコントラバス(2年生)でのペア基礎練習



図 20. パートの並びはバラバラで、円状に並び、基礎合奏



図 21. 1年生の居残り練習

ちょこっとあったかい話もありまして…
部活が終わった後、1年生がわいわいと居残り
で自主練をしていました。入学して半年が経過し、
さまざまな演奏会を乗り越えていく中でお互い
のことがわかってきたそうです…
練習は大変なときもありますが、こういった
雰囲気はとてもいいな～と感じました。

4. 今後に向けて

11月23日には工大祭, 12月22日にはソレイユさんでの演奏があり, そして3月18日には1年の集大成である定期演奏会が控えています. すでにどの演奏会に向けても準備が始まっており, 各係が連携して動き始めています. 特に, 9月の夏合宿で3年生主体の部活から2年生主体へと係の引継ぎを行い, 1年生の係の割り振りも完了しました. これからは演奏面以外の運営面についても多忙な毎日が続くと思います. 吹奏楽という大人数で1つの音楽を作る上では, どうしても意見の衝突や対立が生じます. そんな時でも, やはり何よりも大切な”相手への感謝の気持ち”を忘れずに, 時には意見を譲ったり, 妥協点を見つけたりお互いがお互いに相手に寄り添い合うそんな温かい関係をもって, 部員全員で頑張っていきたいと思います.



図 22. 佐野先生による熱心なご指導

3月18日に開催させていただく第8回定期演奏会の第2部には, プロのサクソ奏者であり, 日頃からご指導を受けている佐野紀江先生によるソロステージを設けることが確定しました. プロの奏者に合わせて演奏をするという機会には誰も体験したことがなく, 練習のスケジュールや予算などさまざまな点で不安なことが多いですが, 全員で最高の演奏ができるように練習していきます.